

**フェムテックを活用した企業・自治体の行動変容を促す
「伴走型アクティブラーニング・プログラム」実証事業**
～gender learning innovation～

株式会社陽と人（ひとびと）【福島県国見町】
（デリケートゾーンケアブランド『明日 わたしは柿の木にのぼる』）

株式会社ライフサカス【群馬県前橋市】
（フェムケアメディア『UMU（ウム）』）



【参考】 株式会社陽と人（代表団体）について

株式会社 陽と人が 目指す社会

しあわせ・笑顔・
豊かさの循環

眠ったままの
地域資源を見つけ、
価値あるものへ。
地域と都市で、
しあわせが循環する
社会をつくります。



【参考】『明日 わたしは柿の木にのぼる』について

柿にまつわる古来の知恵に着目した、デリケートゾーンのケアブランド



心も、カラダも、生き方も、
これまで歩んできた道のりが、
今のわたしを構成している。
わたしが選んだものすべてが、
未来のわたしをつくっていく。
人生は選択が続くけれど、
いつも「正解」なんてだせるわけがない。
失敗だって、立ち上がればいい。
疲れてしまったら、休めばいい。
どんな時も、わたしらしく。
わたしはわたしを、愛しつづけていたい。
自然体でいられれば、
毎日を笑顔で過ごせるから。
前を向いて、空を見上げて、
木にのぼる自由が、わたしにはある。

「明日 わたしは柿の木にのぼる」は、柿にまつわる古来の知恵に着目したデリケートゾーンケアブランドです。福島県国見町のおんぼ柿製造工程で廃棄されてしまっていた柿の皮から抽出した成分を活用することで、地域の持続的な発展も目指しています。

寝不足、不規則な食生活、疲労、免疫力の低下など、私たちの生活の乱れによって、デリケートゾーンの菌のバランスが崩れ、それがおりものの異常やかゆみなど、デリケートゾーンに症状としてあらわれます。
そのため、**デリケートゾーンは「自分の心とカラダを知るバロメーター」**になります。

1日10秒でもデリケートゾーンケアを通して、全ての女性のご自身をいたわるきっかけになりますように。



Sustainable

あんぼ柿の生産過程で廃棄されていた資源（柿の皮）を製品の主原料に使用。
そして生き生きと輝く女性をエンパワメントする製品をつくることで、社会へ還元します。
循環する社会の実現へ向けた活動を止めません。

Policy

わたしたちのポリシー



healthy

月経、妊娠、出産、更年期、閉経、そしてニオイや乾燥といったデリケートゾーンのトラブルなど、女性特有のさまざまな悩みに寄り添います。



high quality

石油系界面活性剤をはじめ、防腐剤や鉱物油も無添加。
厳選した植物由来成分*を用いたシンプルな処方にとどまり、国内工場で製造を行っています。

【参考】 昨年度の実証事業について（一部抜粋）

【はたらく女性の心と身体FACT BOOK】

主な目次

- ・常にゆらぐ、女性のライフサイクル
- ・生理と排卵のしくみって？
- ・生理の負担を軽減するためにできること
- ・生理前にイライラ。PMSかも？

COLUMN：「未病」にアプローチする、漢方って？

- ・生理がつらい！ 月経困難症とは？
- ・男女ともに他人事じゃない。不妊症って？
- ・仕事との両立が困難な不妊治療
- ・心身が変化する妊娠中の過ごし方

COLUMN：妊娠中はがんばらなくていい。

- ・珍しくはない、流産・死産のはなし
- ・どうなっているの？日本の出産
- ・出産による会陰の傷を予防するために

COLUMN：「オキシトシンで産む」とは？

- ・予備軍も多い。産後うつとは？
- ・尿漏れが気になる……
- ・予防はできる！子宮頸がんのこと
- ・身近な病気、女性特有のがんを知る
- ・誰にでもやってくる、更年期とは？
- ・なかなか人に話せない、デリケートゾーンのこと



【企業・自治体での研修・講演】

講座対象者	講座内容（例）
役員向け講座 ※役員はほぼ男性だが従業員は女性が多いため、福利厚生充実や企業価値向上、イノベーションの創出のために講座を実施	はたらく女性の心と身体のFACTを知って企業のあり方を考える 女性活躍とイノベーション・企業経営上の必要性を説明した上で、女性特有の健康課題がなぜそこに関わるのかを理解するための講座
女性従業員向け講座 ※美容系の女性従業員が多い会社であり、女性特有の健康課題を踏まえたライフキャリアの支援が会社として求められるために講座を実施	働く女性のこころとからだ講座～女性が自身の身体のしくみを知って、ライフキャリアを選択できるようになる～ 女性特有の健康課題を深く知り、セルフケアやフェムテックの活用などでより快適なライフキャリアを送ることができるようになるための講座（女性の健康課題とセルフケアに特化）
顧客向け講座 ※女性の顧客が多いため、集客の一環として女性特有の健康課題に関する講座を開催	生理から更年期まで。はたらく女性の身体のこと 女性のライフサイクルや代表的な健康課題についての基本と「明日 わたしは柿の木にのぼる」を使ったセルフケアについて理解する講座
地域住民や地元企業向けの女性活躍講座	女性活躍推進 ～自分らしく働くために～ 住民や地元企業が本当の女性活躍を考えるきっかけにするための講座



【参考】 株式会社ライフサカス（参加団体）について



ライフサカスは
「働く人のライフステージと健康」を支える会社です。

当社は、「働く人がライフステージで抱える生きづらさ」に向き合い、「みんながヘルスケアの正しい知識を持てる環境づくり」を進めることで、社会全体のウェルビーイング向上に資する事業を展開しています。以下3つの領域で、全国各地の企業・行政・学校などに伴走し、ご一緒に活動しています。



Lecture

研修・講演事業



Consulting

コンサルティング・
アドバイザー事業



Media

Webメディア・オンライン
コミュニティ事業

【関連実績】 ●令和3年度・群馬県男女共同参画センター主催「エンパワメント・ユースカレッジ」にて、アクティブラーニング・プログラムの開発、ファシリテーション
●令和1年度～現在 （独）中小企業基盤整備機構にて、ヘルスケア人材育成プログラムの開発と伴走支援
●平成31年度 デジタルビジネスイノベーションセンター「働く女性の健康問題PJ」にアドバイザー伴走支援
●中小機構・中小企業アドバイザー、NPO女性医療ネットワーク理事、群馬県行財政改革・評価推進委員 など

1 事業テーマ・背景・目的について

- 女性の健康課題に問題意識が薄い場合、無理にセミナー等で啓発しても具体的な能力向上や行動変容には繋がらないことが多い。女性の健康課題に問題意識が薄いことについては、時代背景や社会背景が異なる世代・地域で認識にギャップが生じるのは当然であろう。
- このような中、社会を分断せず、対立構造を生み出さない形で「問題を自ら発見し」、「問題を個人ではなく組織・社会の問題として昇華させ」、「みんなで解決する問題として行動する」というサイクルをつくっていきたいと考えている。
- そのためには、単にセミナーにとどまらないアクティブラーニングの手法を導入した「新しい学び方」を取り入れ、個社・地域の課題や状況に対応する形で改善を行なっていく伴走型のプログラム開発が必要である。これにより、能力向上や行動変容につながる成果を適切に把握し、当該成果を広く社会へ発表していくことが必要だと考えている。

以上より、本事業では、最新のアクティブラーニングの手法を取り入れ、
フェムテックを活用して、企業・自治体の
行動変容を促す「伴走型アクティブラーニング・プログラム」を
複数パターン開発・実証する。

本事業では、
女性の健康課題について「個人の能力向上」と「組織の行動変容」
そして「社会の変化の兆し」へ繋げることを目的とする。

2 プログラム3つのポイント

1 組織で誰も 取り残さない

施策効果の高い4属性に向けた、
3つのオリジナルプログラム。
「面」で実証、
包括的に成果測定。

2 楽しく体験、 相互理解

「どうせわかりあえない」を
越えて行くために。
「体感型」重視の設計でみんなの
自分ごと、共通課題へ。

3 「守り」だけで なく「攻め」も

組織のインナー施策に止まらず、
女性の健康を事業開発に接続、
「イノベーション人材」創出の
取り組みも。

① 組織（支援者）の 「行動変容」

経営・管理職 編

□女性の健康課題を
自分ごと化し、ボ
ードメンバーのダ
イバーシティ確保、
企業経営視点で女
性活躍を捉え直す

人事・福利厚生 編

□女性の健康課題の
実態把握、重要性
再確認。
より効果的な複利
厚生を検討、ルール
メイキング機会に

② 個人（当事者）の 「能力向上」

女性従業員 編

□従業員が自らの健康
課題を捉え直し、
医療アクセスやセル
フケアを個人にあっ
た形で改善する

③ 事業の 「アイデア発見」

イノベーション 編

□女性の健康やフェム
テックを自社・地域
資源と掛け合わせた
事業創出について、
越境学習で考える

※当事者外（男性等）従業員はここに参加を想定

3 全体像と骨子（実施してきたこと）

窓口

プログラム

アクティブラーニング編

事後



4 実施体制と実証先について（実施してきたこと）



- ・ 富山県
- ・ 浜松いわた信用金庫
- ・ カゴメ株式会社
- ・ 群馬県安中市（2プログラム）
- ・ 福島県鮫川村
- ・ 長野県佐久市
- ・ zホールディングス株式会社
- ・ ライオン株式会社

（12～2月に実証プログラムを実施）

アンコンシャスバイアスに気づくための映像制作

朴基浩（ぱく・きほ）さん

映画監督

2020年に『LOOKING FOR THATーアレを探してー』（※）を制作。

（※）発達障害の女性、セックスワーカー、PMSに悩む女性とそのパートナー、病気で子宮を摘出した女性、閉経した女性……15人の生理にまつわる証言をとらえた約60分のドキュメンタリー。



協力

協力

Zホールディングス株式会社（LODGE）

映像撮影協力

Zホールディングス株式会社のLODGEにてアンコンシャスバイアスに気づくための映像を撮影



協力

群馬大学大学院保健学研究科 恩幣宏美准教授

実証の効果測定に研究として介入
（実証の第三者評価を実施）



2022年11月2日 東京大学生産技術研究所主催フォーラムへ参加

「もしかする価値観」との出会い STEAMとD&I から広がる地平線

～STEAM 教育活動およびD&I活動を行うに当って、組織が異なる価値観に触れ続けることの重要性を社会発信することを目的としたもの～



5 今後実施すること

12～2月にかけて、
プログラムの実証と効果測定を行っていきます

女性の健康をみんなで支える組織・社会をつくる フェムテックでD&I体感型研修

月経・PMS・更年期などの「女性の健康課題」をテーマに、組織や個人の中にあるアンコンシャスバイアスに気づき、企業内でのD&I促進へつなげることを目的とした体感型企業研修を実施します。

*本プログラムは、経済産業省令和4年度「フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金」により実施するものです。

フェムテックとは...

FemTech（フェムテック）とは、Female（女性）とTechnology（テクノロジー）をかけた造語。女性が抱える健康の課題をテクノロジーで解決できる商品（製品）やサービスのことを指す。

ジェンダーダイバーシティとは...

これまで男性を対象に研究されてきた医療や製品・技術開発を、性差（生物学的・社会的）に着目して捉え直し、イノベーションにつなげることを。

所要時間：3時間半程度

01 講義

「自組織とフェムテック・ジェンダーダイバーシティ」の相関を学び、女性の健康支援の有効性を再認識します。



講師・ファシリテーター

株式会社 ライフサカス
代表 西部沙緒里



株式会社 隔と人
代表 小林味愛

02 グループワーク

とあるオフィスを舞台にした映像を視聴し、登場人物の背景や状況を想像、気づき・違和感を共有するワークをおこないます。

03 ディスカッション

「もし私が〇〇な社員だったら…」という仮定のもと、参加者がそれぞれの立場に立ち、自組織の現状・障壁を捉え直し、今後あるべき施策を考えます。

お問い合わせ先 株式会社隔と人 info@hito-bito.jp

参加費
無料

2023.2.3 (金)13:00-16:00

会場 鮫川村役場

対象 鮫川村の役場職員、大豆産業に携わる方

定員 20名 参加費 無料

※事前・事後のアンケートへの協力をお願いします。
※本プログラム受講前に動画を視聴いただきます。
「女性の健康課題に関する基礎知識」約60分

フェムテックとは...
FemTech（フェムテック）とは、Female（女性）とTechnology（テクノロジー）をかけた造語。女性が抱える健康の課題をテクノロジーで解決できる商品（製品）やサービスのことを指す。
ジェンダーダイバーシティとは...
これまで男性を対象に研究されてきた医療や製品・技術開発を、性差（生物学的・社会的）に着目して捉え直し、イノベーションにつなげることを。

講師・ファシリテーター
株式会社 ライフサカス
代表 西部沙緒里
株式会社 隔と人
代表 小林味愛

01 講義
「自組織とフェムテック・ジェンダーダイバーシティ」の相関を学び、女性の健康支援の有効性を再認識します。

02 グループワーク
とあるオフィスを舞台にした映像を視聴し、登場人物の背景や状況を想像、気づき・違和感を共有するワークをおこないます。

03 ディスカッション
「もし私が〇〇な社員だったら…」という仮定のもと、参加者がそれぞれの立場に立ち、自組織の現状・障壁を捉え直し、新視点での商品開発を考えます。

申込先 <https://forms.gle/XasxvCtw7XMCpvyca>
申込期限：1月20日（金）
※申込受付は先着順とし、定員になり次第、締め切ります。
同一団体から複数のご参加の場合は、お一人ずつお申し込みください。

問い合わせ先 鮫川村役場
＜※確認＞
鮫川村役場

お気軽にお問い合わせください

株式会社陽と人

 info@hito-bito.jp